

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市地域交流センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市新魚町17 名称 津山街づくり株式会社 代表者 代表取締役 菅田 茂
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部経済振興課
(4) 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
(5) 評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	65,397人(前年度 51,730人)
(2) 事業の内容	・カルチャープラザ運営事業、まちなかカレッジ運営事業等 ・当該施設を利用した各種イベントの開催

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	43,601千円(前年度41,314千円)
	利用料金収入	7,418千円(前年度 6,934千円)
	指定管理料	31,400千円(前年度29,674千円)
	自主事業収入	4,783千円(前年度 4,706千円)
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	45,064千円(前年度38,766千円)
	施設管理費(含人件費)	26,084千円(前年度21,294千円)
	共益費	8,791千円(前年度 8,791千円)
	駐車場使用料	6,360千円(前年度 4,860千円)
	事業経費	3,830千円(前年度 3,821千円)

4 総合評価結果

(1) 利用満足度調査等の概要	<p>利用者の利用満足度を高めるための取り組みとして、随時、利用者 と直接面談を行い、利用回数を増加しやすくするための意見・要望を把握し、意見・要望に沿った改善を行っている。</p> <p>今年度も、要望に応える取り組みとして「カルチャープラザ事業」と「まちなかカレッジ事業」のイベントを同時開催し、利用満足度を高めることが出来、事業拡大に繋がった。</p>
(2) 指定管理者の自己評価	<p>利用者数は、施設の閉鎖等はなく、新規事業があったこともあり、前年比26%増と大幅な増加となった。(前前年比でも14%増)</p> <p>収入は、指定管理料の6%増、利用料金収入の7%増、カルチャー受講者の回復に伴い自主事業収入が2%増となった。</p> <p>支出は、施設管理費が事業拡大により人件費・工事費で22%の増、駐車場使用料が31%の増となった。</p> <p>結果として、収支状況は前年の2,548千円から 1,463千円と第3ギャラリー工事費相当額が吸収できなかった。</p> <p>利用者数、利用料金共のびているので、今後も利用促進案内、施設PR等を強化するとともに、自主企画事業の拡充と共に館内の他の施設とも合同企画を組み、新たな利用形態の開拓も図り、収支の改善に取り組んで行く。次年度は、「まちなかカレッジ」と「カルチャープラザ」の調整を密にすることで、稼働率の向上を図る予定。</p>
(3) 市の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新規施設の開設に伴う改修工事費などの支出が増加し赤字となったものの、施設PRや新規事業などにより、利用者数が増加するとともに、利用料金収入及び自主事業収入は増加し、事業者の努力がうかがえる。 ・今後も引き続き施設PR、催事の誘致や各事業との連携により施設の有効活用を図るとともに、施設の特性を生かして館内他施設や周辺商店街等と連携した取り組みを実施していただきたい。